

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2023 年 7-9 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 276 社から回答があった。景況判断 DI は▲16 となり、前期調査から 2 ポイント改善した。来期の見通しは▲13 となり、3 ポイント改善する見込みとなっている。経営上の問題点については、「従業員の不足」の回答割合が最も高かった。「その他」の記述回答では、物価の高騰、燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。

以下、その他業況感 DI の内訳

前期(2023 年 4-6 月)に対して、

- ・売上高 DI は▲4 で、12 ポイント改善
- ・処理量 DI は▲8 で、7 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲12 で、4 ポイント改善
- ・資金繰り DI は 0 で、3 ポイント改善
- ・借入難易度 DI は 8 で、2 ポイント改善
- ・設備投資 DI は 8 で、8 ポイント改善
- ・従業員数 DI は▲1 で、3 ポイント悪化
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 7 で、1 ポイント改善
処分が 6 で、2 ポイント悪化

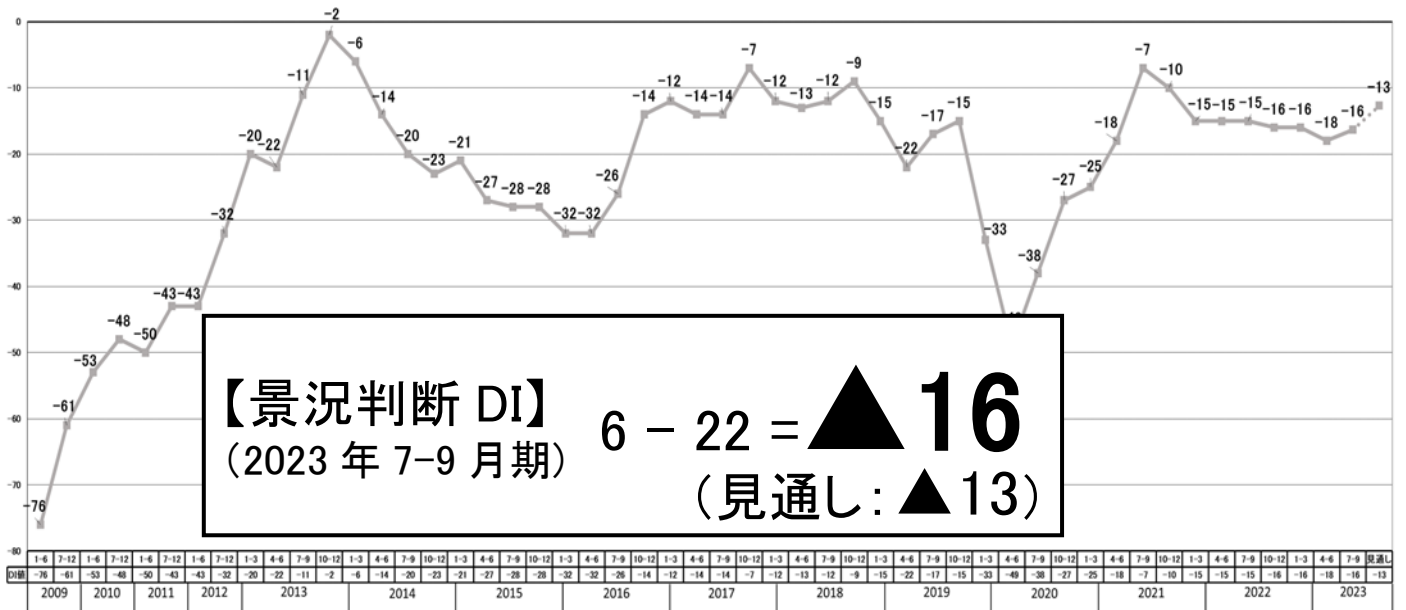
- 売上高の動向については、前年同期比で 5.3%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で 13.5%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で 1.9%減となった。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

〔調査の要領〕

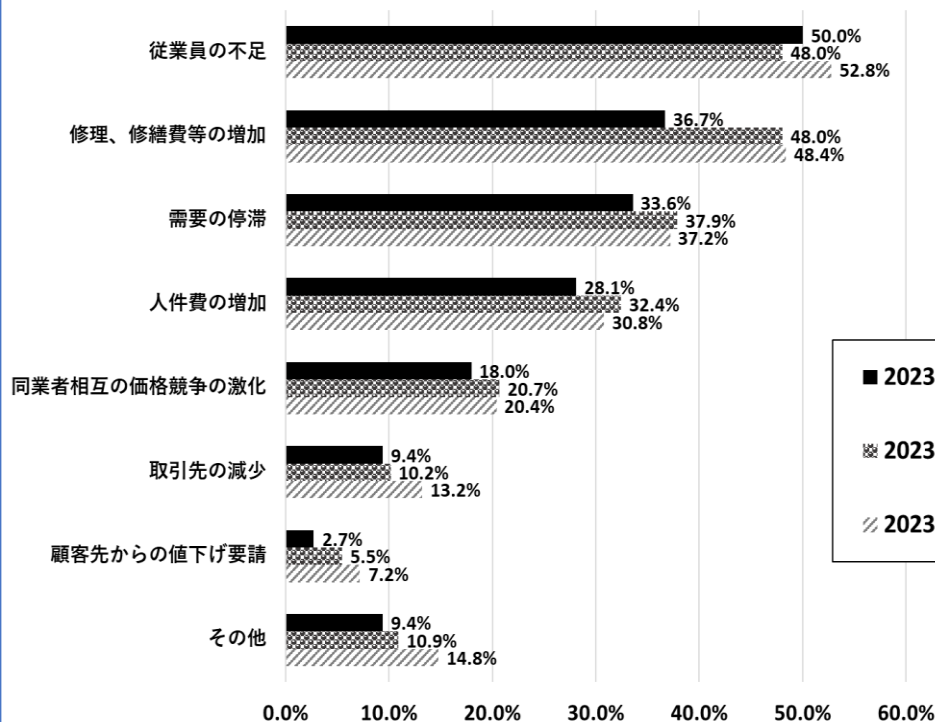
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法: Web によるアンケート
- 調査期間: 令和 5 年 10 月 2 日～10 月 31 日
- 回答企業数: 276 社

景況判断DI(2009年1-6月期～2023年7-9月期と見通し)



経営上の問題点(複数回答可)

<2023年7-9月期（回答企業数：256社）>

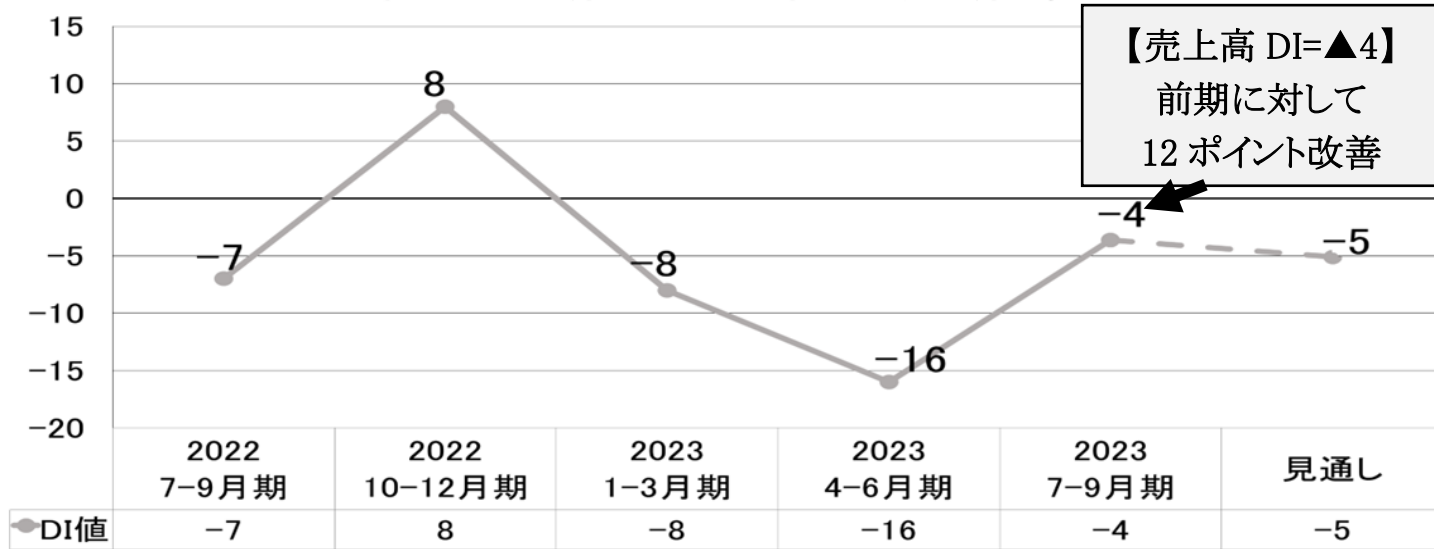


■ 2023年7-9月期（回答企業数：256社）

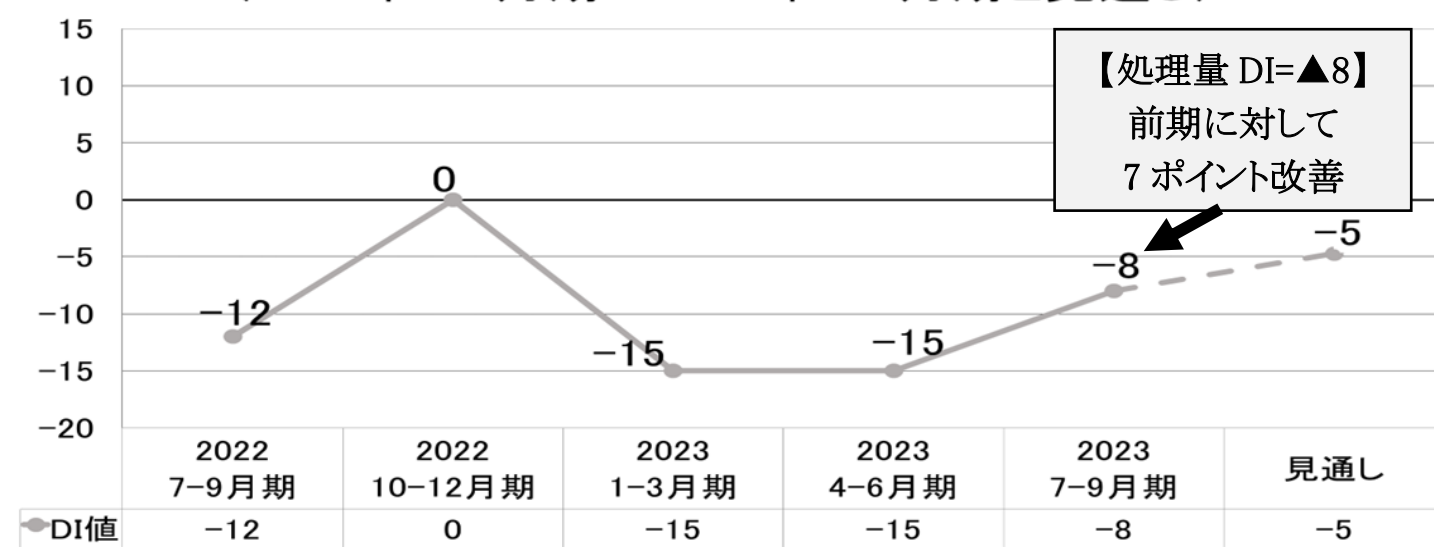
■ 2023年4-6月期（回答企業数：250社）

※ 2023年1-3月期（回答企業数：299社）

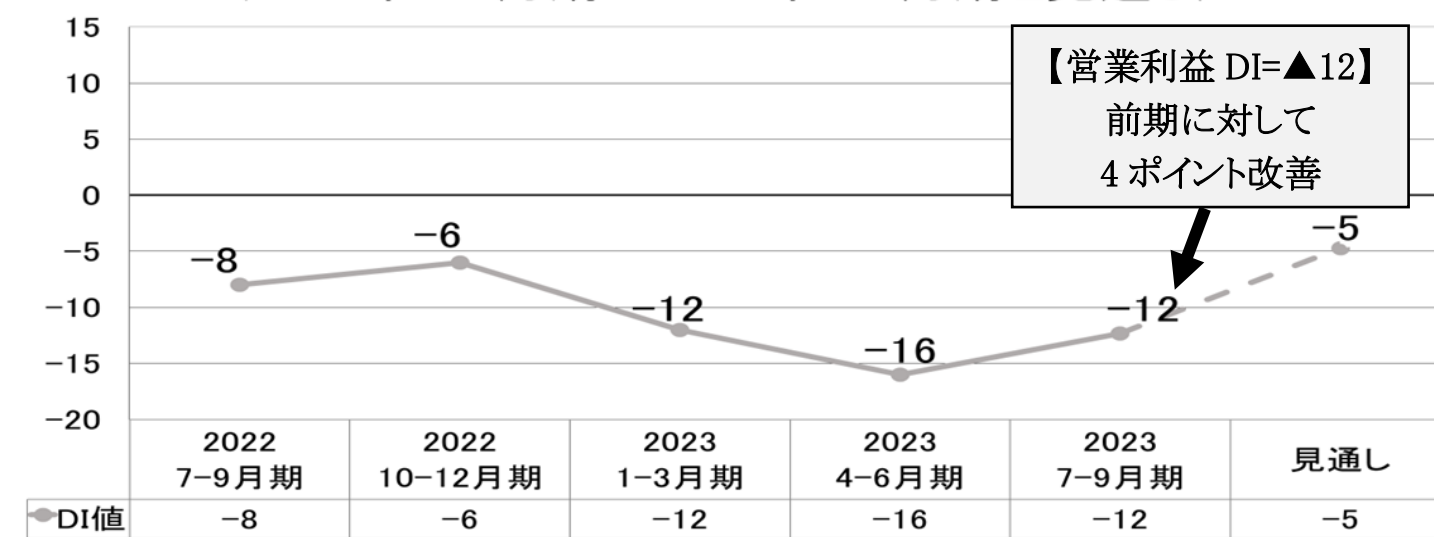
売上高DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



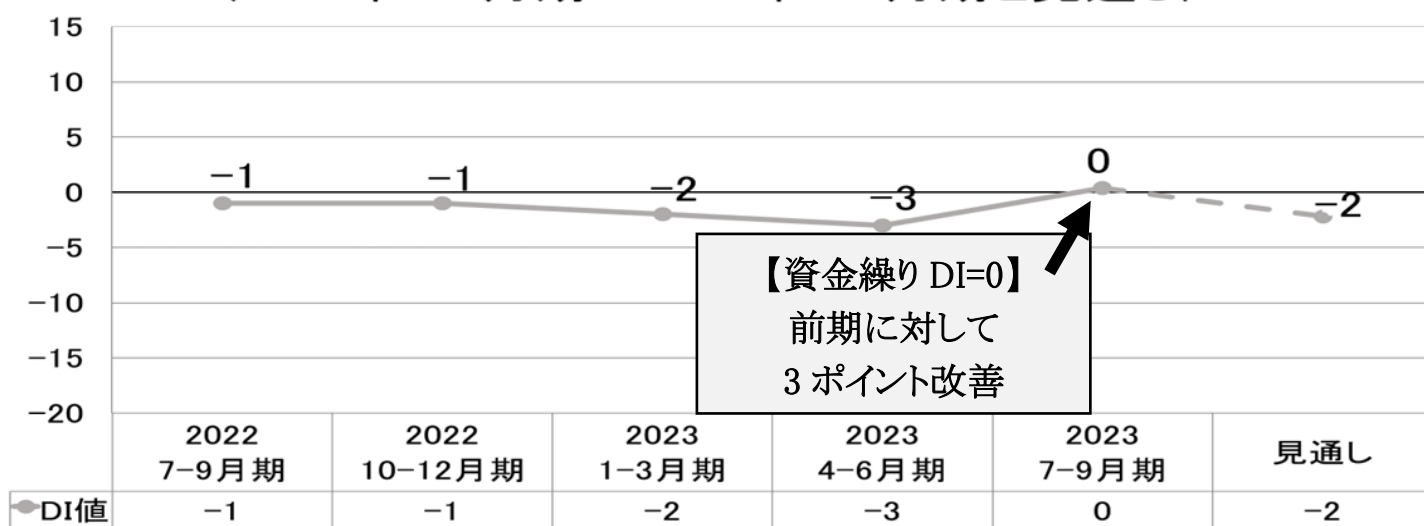
処理量DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



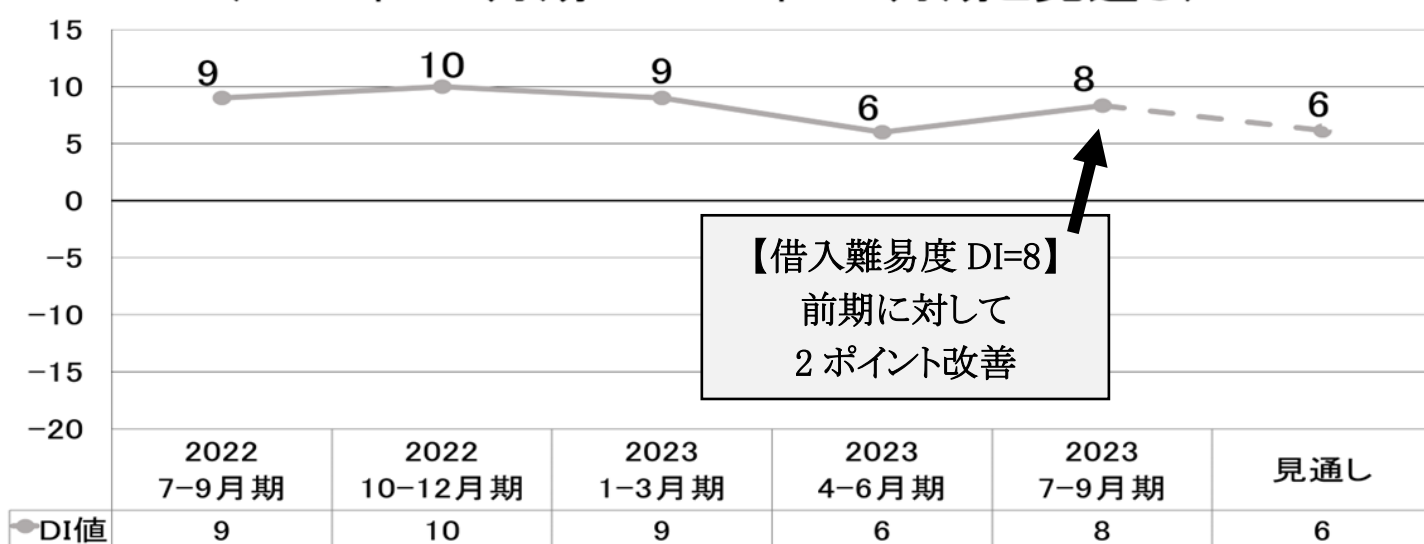
営業利益DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



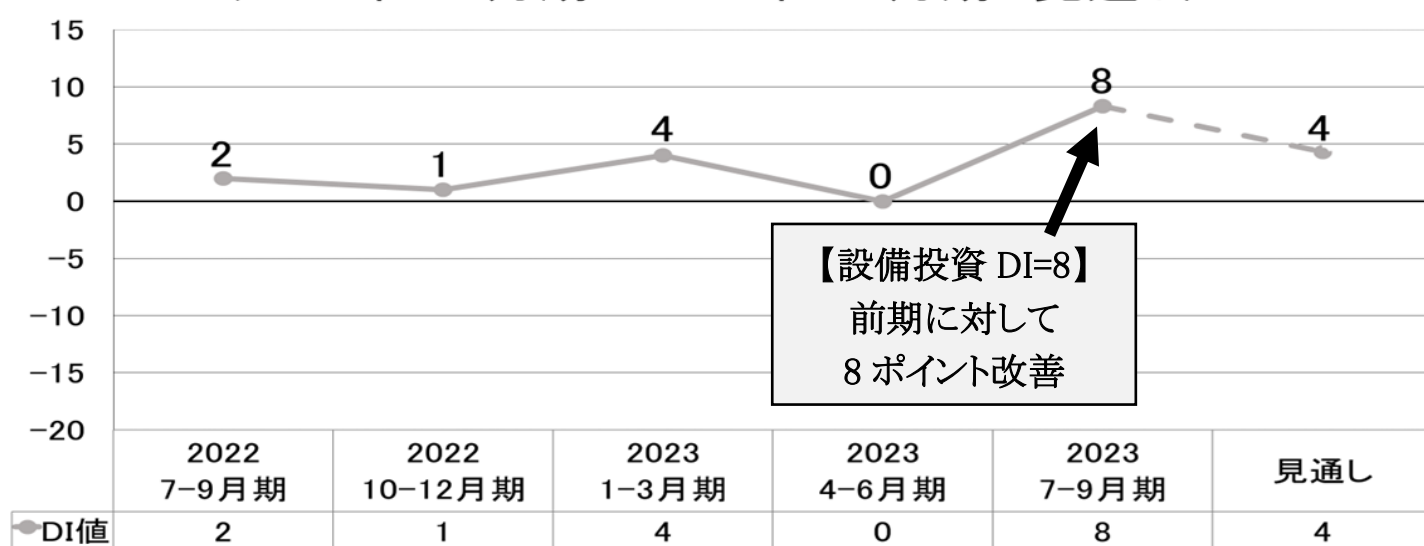
資金繰りDI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



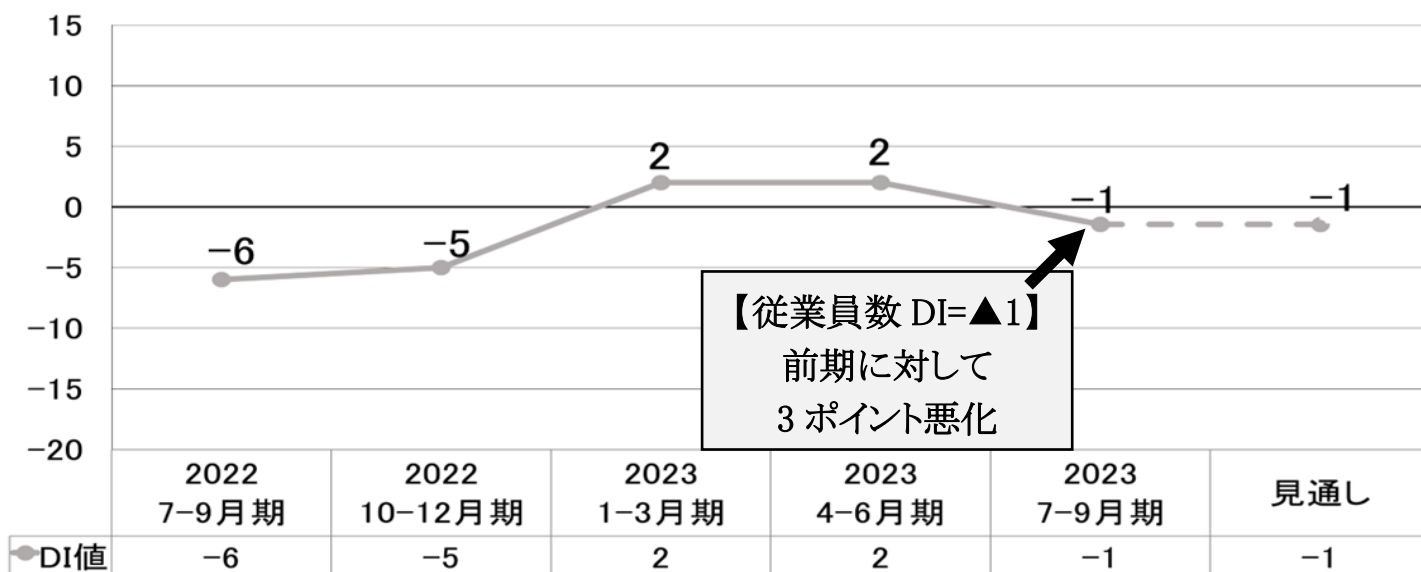
借入難易度DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



設備投資DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2022年7-9月期～2023年7-9月期と見通し)



【従業員数 DI=▲1】
前期に対して
3ポイント悪化

【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

